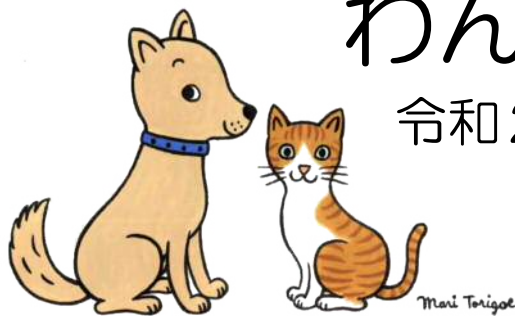


わんわんレポート

令和2年10・11月号 No.394



Copyright (C) 2010 Mari Torigoe.

アニマモール
川崎市動物愛護センター ANIMAMALL かわさき
川崎市中原区上平間1700番地8
電話 044-589-7137



小学校で「いのち・MIRAI教室」を行いました！

10月14日（水）、市内小学校の1年生クラスにおいて、動物愛護センターの職員が授業を行いました。

授業では、動物愛護センターに保護された犬の外見や表情の変化を写真で見て、動物にも気持ちがあることを学んでもらいました。

また、犬が動物愛護センターに来てから新しい家族ができて幸せになるまでの物語を紙芝居でお話ししました。

みなさん、積極的に意見を発表し、集中して授業を聞いてくれていました！



「いのち・MIRAI教室」の参加校を随時募集中！

当センターでは、業務支援ボランティアの方々と協働して、小・中学校を対象に、いのちの大切さなどを子どもたちに伝える動物愛護教室＝「いのち・MIRAI教室」を実施しています。

教室では、当センターの獣医師が授業を担当し、ボランティアの方々には児童への声かけや授業風景の撮影、動物愛護センター内の引率の補助などについてご協力いただいています。

いのち・MIRAI教室には、当センターで実施する来所型プログラムと、各学校で実施する出張型プログラムの2種類があります。

動物を思いやることは、他者に共感し、相手を思いやる心を育てるといわれており、子どもたちに他者への思いやりの心を育むきっかけとなればと考えています。



詳細、ご相談については、下記までご連絡ください。

問い合わせ先 044-589-7137 川崎市動物愛護センター 企画担当

動物慰霊祭のご報告

9月24日（木）、動物愛護センター内のNITTOKU適正飼育啓発室において、動物慰霊祭を執り行いました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため動物愛護センター関係職員のみで式典を執り行いました。

令和元年度に、動物愛護センター及び川崎市健康安全研究所で命を終えることとなった動物種及びその数の報告を行い、所長から式辞が読み上げられ、参列者代表による献花が行われた後、全員で黙とうを捧げ、しめやかに式典を終えました。

感染症対策が不可避である中、例年どおりの実施とはなりませんでした。動物たちの御霊に対し、少しでも弔いになっていただければと思います。



～大切なペットと幸せに暮らすために～

ペットは責任と愛情をもって最後まで飼いましょう

ペットを飼い始めるときには、終生飼養できるかどうかをよく考え、その動物の習性を良く知ってから飼いましょう。それがペットとの楽しい生活の第一歩です。
飼い始めたら、飼い主としてのマナーを守り、責任と愛情をもって最後まで飼いましょう。

飼い主であることを明示しましょう

飼っている犬や猫などのペットに所有者の明示をすることは、飼い主の責務の1つです。迷子になった時、災害にあった時など、飼い主のもとへ無事帰れるよう、しっかりと連絡先を明示しておきましょう。

犬の場合には、市町村への犬の登録と狂犬病予防注射の接種により交付される「鑑札」と「狂犬病予防注射済票」を装着しておくことが、狂犬病予防法により義務付けられています。猫の場合は名札を利用しましょう。名札には動物の名前だけでなく、必ず飼い主の名前と連絡先を記入しましょう。

また、可能な限り、マイクロチップを装着、登録しましょう。マイクロチップは動物の体内に装着するので、首輪などを外して逃げ出してしまった場合でも、専用の読取り器があれば飼い主を探すことができます。

飼い主の万が一に備えましょう

年末や年度末になると、ペットの引き取り相談が増える傾向にあります。飼い主の転勤による引越し、高齢者の入院や死亡、ペットが飼い主に慣れないなど理由は様々です。大切なペットの行き場がなくなることがないように、日頃からご家族や周りの方とよく相談し、ケガや突然の病気など飼い主の万が一の場合でも飼ってもらえる方を探しておきましょう。また普段からペットの基本的なしつけや健康管理を徹底し、ペットを様々な環境に慣らしておきましょう。

ペットの高齢期に備えましょう

犬は7歳前後、猫は10歳前後から高齢期と言われています。高齢期を迎えたら、日頃からの健康チェックには今まで以上に気を配り、定期的に健康診断を受け、フード、病気、室内の危険等への対応を考えましょう。高齢になるにつれ、様々な症状が現れ介護が必要になる場合もあります。どんな症状があり、どんな介護が必要になるのか、事前に調べておきましょう。また、適切な治療や介護にかかる費用を、前もって準備しておくことも大切です。

人の介護と同様に、飼い主には精神的にも肉体的にも負担が増えますが、悩みを一人で抱えず、家族や知人、獣医師や飼い主仲間など、他の人に相談することが重要です。

出典：環境省 適正飼育啓発パンフレット 「飼う前も、飼ってからも考えよう」

Facebookのご紹介♪

川崎市動物愛護センターの公式Facebookでは、適正飼育啓発事業、動物愛護普及啓発事業などの情報発信を行っております。また、動物たちの個性があふれているストーリーや表情豊かな写真も公開しています。

新型コロナウイルス感染症対策のため、譲渡会などのイベントの中止が続いております。なかなかご来館ができない方もこの機会にぜひ、Facebookをとおして当センターの事業や譲渡対象の動物たちについて知っていただければ幸いです。

運営にあたり、原則フォローや返信は行いませんが、「いいね」やシェアは大歓迎です！

ぜひみてね♪



職員の異動のご報告

令和2年10月1日付けで動物愛護センター職員の異動がありましたのでお知らせいたします。

☆お世話になりました
担当（獣医師） 大島公子

☆よろしくお祈りします
担当（獣医師） 高峰夏子



新型コロナウイルス感染症関連情報

ペットを飼っている方、
ペット関連事業者の方へ
環境省のページにリンク



預かり支援団体などの
連絡先について
環境省のページにリンク



動物を飼養する方向け
Q & A
厚生労働省のページにリンク

